

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設名	小台ここわ保育園
法人名	株式会社ディアローグ
法人所在地	東京都渋谷区渋谷 3-8-12 渋谷第一生命ビル 7 階

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

当園では、開園以来継続して「ここわの教育」を行っています。「ここわの教育」には、英語や運動、リトミック、もじすうじ等がありますが今回は、その中の「英語」を取り上げました。「英語」は、園児たちにとって普段使っている日本語を含めて、外国人講師が使う英語という日本語以外の言葉に興味を持っているのではないかと考え、「ことば」をテーマに設定をしました。



〈テーマの設定理由〉

「英語」は外国人講師が週に 2 回来園し、開園以来から子どもたちと英語で接しています。同じ内容の日本語の絵本と英語の絵本をそれぞれ読み聞かせをすることで、自分たちが話すことばや日本語と英語とでの読み聞かせの内容について子どもたちに問いかけて、気がついた事を考えて行く事とその気がついたことに興味を持ち、色々なことばに触れる楽しさを感じられることを目的とし「ことば」をテーマとして設定しました。

2. 活動スケジュール

*1 歳児クラス

【問いかけ】週 2 日来園する英語の講師が子どもたちに話しかける英語（英語の講師が発する言葉）と日本語（保育者や保護者が発する言葉）とを区別していることがわかるであろうか？日本語と英語で同じ内容の絵本を使って問いかけてみました。

【流れ】英語の講師の来園日には、英語の講師が英語で読み聞かせを行い、保育者は子どもたちと一緒に参加をします。また保育者が日本語の絵本の読み聞かせをする際は、英語の講師は子どもたちと一緒に参加をします。このように、子どもも大人も一緒に英語と日本語の言葉を共有します。発語が難しい乳児クラスでも、日本語や英語の音を聞く事で言葉を共有します。

【探究活動の実践と記録】英語の活動の際には保育者が記録をし、日本語活動の際には保育者と共に英語講師

も記録をし、特に子どもが英語を発している際の言葉や音の聞き分けを保育者が担当しました。

＊読み聞かせ：1歳児クラス・・・英語の絵本は、外国人の英語の講師が読み聞かせをします。また、日本語の絵本は保育者が読み聞かせをします。

＊手遊び歌：1歳児クラス・・・英語の手遊び歌は、外国人の英語の講師が英語で行い、日本の手遊び歌は保育者が行います。

【振り返りや共有】毎月月末に英語講師と職員のブリーフィングをおこなっているのので、そこで探究活動の共有を行い、次月の問いを考え環境設定や探究活動のスケジュールを話し合います。保育者同士は、クラス会議や職員会議で振り返りをして共有を行います。

＊5歳児クラス

【問いかけ】保育者が色々なことばがあることについて問いかけました。「私たちが今話していることばは、何ということばか知っていますか？」「私たちが話していることばは、どんな人でも話していると思いますか？」「私たちが話していることば以外で何か聞いたことがありますか？」等の問いかけに、「カトリナ先生は、自分たちのことばではないことばを話している」「カトリナ先生が話していることばは、英語で私たちが話していることばは、日本語だと思う」と、子どもたちがことばには日本語と英語など他にも色々なことばがあることを知っていました。

【流れ】英語の講師の来園日には、英語の読み聞かせを行い、保育者は子どもたちと一緒に参加をします。また、日本語の読み聞かせをする際に、英語の講師は子どもたちと一緒に参加をします。このように英語と日本語ということばを一緒に子どもたち、英語講師、保育者が共有します。

【探究活動の実践と記録】英語活動の際には保育者が記録し、日本語の活動の際には保育者と共に英語の講師も記録をします。特に、子供が英語を発している際のことばや音の聞き分ける事を保育者が担当しました。

＊読み聞かせ：5歳児クラス・・・英語の絵本は、外国人の英語の講師が読み聞かせをします。また、日本語の絵本は保育者が読み聞かせをします。

【振り返りや共有】毎月月末になると、英語の講師と職員のブリーフィングを行っているのので、そこで探究活動の共有を行い、次月の問いを一緒に考えて、環境設定や探究活動のスケジュールを話し合う時間を設けています。保育者同士は、クラス会議や職員会議等で振り返りをして共有を行います。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境設定】英語講師の来園日に探究活動を行うよう環境を設定しました。

【素材】

＊同じ作者の日本語と英語の絵本：エリックカールの「はらぺこあおむし」と“The very hungry caterpillar”，「げつようびはなにたべる」と“Today is Monday”

＊同じ手遊び歌の日本語バージョンと英語バージョン：「グーチョキパーでなにつくろう」と“Rock scissors paper finger play”



4-①. 探究活動の実践（日本語）

〈活動内容〉① 「はらぺこあおむし」日本語絵本の読み聞かせ

＊1歳児クラス：保育者が日本語の絵本の「はらぺこあおむし」を読み聞かせました。

〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり〉

通常の保育の中でも絵本の読み聞かせをおこなっているのですが、子どもたちに絵本を見せると、「始まるのかな？」とわくわくした喜ぶ声が聞こえてきました。「はらぺこあおむし」の曲がかかり、歌が始まると子どもたちは「じっと」絵本を見つめて、次のページへとめくっていくと食べ物のページへと移り、子どもたちはもっと大きな声で「わ～」っと歓声が上がりました。まだ、はっきりとした言葉を発する事ができず、一つずつ食べ物の単語も言葉で言う事もできない子どももいますが、保育者と一緒に身体を動かして楽しそうに絵本を見ていました。絵本の中で「あおむし」がどんどん太って大きくなる場面では、口を大きく開けている子どもたちもいました。最後の場面のあおむしが「さなぎ」になり「ちょうちょ」になる場面では、もっと大きな歓声が子どもたちから上がり、また前に飛び出して来る子や嬉しくて手を叩く子や、足をバタバタと動かす子もいました。大きくなった「あおむし」の場面では、一人ずつ「タッチ」をして満足したかのように、読み聞かせを楽しんでいました。



4-① 探究活動の実践（英語）

〈活動の内容〉① “The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）” 英語絵本の読み聞かせ

＊1歳児クラス：英語の講師が英語で The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）の絵本を読み聞かせました。

〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり〉

英語での歌を覚えている子どももいて、歌が始まると自分で振り付けをして楽しむ子どももいました。英語の絵本ではありましたが、よく聞いて見ている絵本であったので興味を持って見ていました。中でも数名の子は、英語の講師が「hungry」と子どもたちに向けて話すと、同じように「hungry」と言ってくれる子もいました。また、最後の場面では絵本の中の「ちょうちょ」にタッチをしたりする子もいました。英語の時間の際の最後には、「Thank you」の挨拶も真似て発語をしている子もいました。



5-①. 振り返りと次回への問い

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

【振り返り】子どもたちがとても気に入っている好きな絵本で、日本語の読み聞かせでは次はどんな場面が出てくるかを覚えているので、真剣な眼差しでじっと静かに絵本に集中できている子どもがたくさんいました。また、最後に「あおむしがちょうちょ」になる場面では、日本語の絵本でも英語の絵本でもどちらでも手を大きく広げて動く子どもたちがたくさんいました。英語の絵本ではことばはわからない単語もありますが、小さいなりに理解しているように思いました。

【次回への問い】5歳児に対して「はらぺこあおむし」を日本語、そして英語で読んだら1歳児と同じような反応をするのだろうか？それとも反応が異なるのだろうか？と考えました。

一方で1歳児に対しては絵本以外、例えば手遊び歌などで英語と日本語で手遊びすると違いがみられるのかと考えました。

4-②探究活動の実践（日本語）

〈活動内容〉② 「はらぺこあおむし」日本語絵本の読み聞かせ

* 5歳児クラス：保育者が日本語の絵本の「はらぺこあおむし」を読み聞かせました。

〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり〉

乳児クラスから好きな絵本ということもあり、内容を十分わかっているので集中して見ていました。最近では、あまりこの絵本の読み聞かせをしていなかったもので、子どもたちはとても新鮮な気持ちで見ているようにも見えました。また曲が流れると楽しそうに、子どもたちみんなが歌いだしました。



4-② 探究活動の実践（英語）

〈活動の内容〉② “The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）” 英語絵本の読み聞かせ

* 5歳児クラス：英語の講師が英語で The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）の絵本の読み聞かせをしました。

〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり〉

日本語での読み聞かせでは、何度も聞いていた絵本であったのでカトリナ先生の英語での読み聞かせが始まると、英語のレッスンで覚えた単語の「ice cream」「strawberry」「orange」などの英語を発音する姿も見られました。また絵本の中の曜日も月曜日から日曜日まで発音できる子どももいました。

5-②. 振り返りと次回への問い

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

【振り返り】子どもたちみんなが好きな絵本であったので、とても楽しく見る事ができました。英語での読み聞かせの時は、子どもたちの知っている英語の単語がいくつもあり、「Sunday」から「Monday」まで上手に発音できている子どももいました。「pear」,「plum」や「salami」等の単語は、わからない子どもたちが多くいたので、子どもたちには単語の発見ができました。また最後の「he was a beautiful butterfly」のページでは、大きく手を広げて喜んでいました。食べ物の単語は、覚えやすいので英語の講師を通してもっと覚えていけるといいと思いました。やはり1歳児とは異なり、普段から英語に慣れ親しんできた5歳児は英語と日本語の区別をし、英語の絵本の時には知っている英語を自ら発したり、英語講師の発音を真似をする姿が見られました。

【次回への問い】今回は同じ絵本を日本語を先に、英語を後で読み聞かせましたが、次回絵本を英語を先に読み、日本語を後で読むと子どもたちはどのように反応するのだろうか考えました。

4-③ 探究活動の実践（日本語）

〈活動内容〉③ “「ぐーちょきぱーでなにつくろう」” 日本語で手遊び歌を歌う

* 1歳児クラス：保育者が日本語で「ぐーちょきぱーでなにつくろう」の手遊び歌を歌いました。

「ぐーちょきぱーでなにつくろう」の保育者の呼びかけに手の動きを真似して、「ぐーやちょきやぱー」を真似して手を出す子どももいました。「アンパンマン」になると子どもたちは、大好きな形なのでとても喜び「アンパンマン」と何度も声を出しながら笑顔で、英語講師や保育者へ手を見せながらアピールをしていました。



〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり〉

4 - ③ 探究活動の実践（英語）

〈活動内容〉③ “Rock scissors paper finger play(ぐーちょきぱーでなにつくろう)” 英語で手遊び歌を歌う

* 1歳児クラス：英語の講師が「Rock scissors paper finger play」(ぐーちょきぱーでなにつくろう)を英語で手遊び歌を行いました。

〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり〉

英語講師の歌に合わせて子どもたちが、身体を揺らしてリズムをとっていました。また、手遊びの中でも「ぐーちょきぱー」はとても好きな手遊びでもあるため、英語でも日本語での手遊びと同じように楽しんでいました。英語の単語で「Buttefly」は子どもたちでもいいやすい単語のようで、大きな声で発音している子もいました。しかし、「Buttefly」が「ちょうちょ」であることは、理解していないようでした。

5-③ 振り返りと次回への問い

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

【振り返り】子どもたちとの手遊びの中でも「グーチョキパー」は、とても好きな手遊びで、保育中でもよく行っています。特に「右手はグーで左手もグーでアンパンマン」は、大好きな手遊びです。「グー、チョキ、パー」は、子どもたちが手で作りやすい形でもあり、また見立てられる形ができるのでとても分かりやすく、歌に合わせてできるので楽しめます。また英語でも日本語でもメロディは同じなので、日本語でも英語でも同じように体でリズムをとるなど楽しんでいました。ただ、英語の言葉に馴染みが無いので、英語の講師がジェスチャーをすることで一緒に「グーチョキパー」を楽しんでいました。その中でも「Buttefly」の英単語は、子どもたちが言いやすい単語なのか「バタフライ」と上手に発音をしていました。また講師の手の動きを見て「パーとパー」でちょうちょとわかったようで両手をバタバタと動かす子供もいました。この”butterfly”は前回読み聞かせをした”hungry caterpillar”の中の単語なので、こどもが記憶をしていると考えられます。

【次回への問い】別の絵本を英語と日本語で読むことで、1歳児はどのような反応をするのだろうかと考えました。

4-④ 探究活動の実践（英語）

〈活動の内容〉④ [Today is Monday](げつようびはなにたべる)英語の読み聞かせ

* 5歳児クラス：英語の絵本「Today is Monday」を読み聞かせました。

〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり〉

「Today is Monday」は、以前乳児クラスの時に日本語で何度も読み聞かせで聞いている絵本でしたが、英語の講師の英語での読み聞かせが始まると、絵本の内容は知っていましたが、とても新鮮な気持ちで聞いていました。また、知っている英語の単語がわかると「その単語は、知っている」と思わせるような顔をしている子供もいました。読み終わった後に食べ物の単語を聞いてみると、とてもいい発音で答えていました。



4-④ 探究活動の実践（日本語）

〈活動の内容〉④「げつようびはなにたべる」日本語の読み聞かせ

＊5歳児クラス：日本語の絵本「げつようびはなにたべる」を読み聞かせました。

〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり〉

乳児クラスで何度も読み聞かせをしていた絵本であったので、とてもよく内容を覚えていました。英語での読み聞かせの後の日本語であったので、日本語の絵本を読んでも知っている英語の単語で食べ物を言えることも子どもたちが沢山いました。日本語での読み聞かせと、英語での読み聞かせの違いも子どもたちから気がつくことができました。絵本のページを次々にめくっていくと、お腹を空かせた動物たちの食べ物が出て来るので、子どもたちは、次はどんな食べ物が出て来るのか集中して絵本を見ていました。特に、乳児クラスの時には気がつかなかったぞうの好きな「ゾープ」は、どんな食べものなのか質問がでたので、「ぞうが好きなスープ」であることを伝えると、「そうなんだ」「なるほど」等の納得した言葉がかえってきました。



5-④ 振り返りと次回への問い

〈振り返りによる得た先生の気づき〉

【振り返り】乳児クラスで何度も読み聞かせをしていた絵本であり、音楽絵本でもあるので楽しく見る事ができました。英語の講師の読み聞かせでは、日本語での読み聞かせとは少し違って、英語での単語が出できたので内容は同じでも英語での読み聞かせは、とても新鮮なようで絵本の内容を聞き入っていました。絵本の中で英語の講師が「hungry」と発音をするとお腹を押さえてジェスチャーをする子が多くいました。また、「chicken」では、「にわとり」の動きを真似する子もいました。英語での読み聞かせを何度か繰り返すことで単語をいくつも答えられるようになって来ました。5歳児になると、英語と日本語という言語の違いは認識しており、その違いを見つけることで、また新たな気づきや発見があったりして、同じ内容であっても、英語と日本語の単語があり内容は同じであることを理解しているように思えました。

【次回への問い】音楽絵本以外でも色々な絵本を日本語と英語で読み聞かせすることで、もっと日本語英語に関わらず語彙量が増えるのではないかと思います。

4-⑤ 探究活動の実践（日本語）

〈活動の内容〉⑤「できるかな？」日本語絵本の読み聞かせ

＊1歳児クラス：日本の絵本「できるかな？」を読み聞かせました。

〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり〉

何度も保育中に読み聞かせをしている絵本であるので、じっと見ていました。保育者が絵本の中の動物たちの動きをすると、子どもたちも真似をしたり子どもたちからの言葉が出てきている時期でもあるので、動物の名前を言ったりする子もいました。また、音楽に合わせて体を動かし、特にゴリラの場面では胸を叩いて真似をする子が沢山いました。



4-⑤ 探究活動の実践（英語）

〈活動の内容〉④「できるかな？」英語絵本の読み聞かせ

* 1歳児クラス：英語の絵本「From Head to Toe」を読み聞かせました。

〈活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり〉

英語での読み聞かせも、日本語の読み聞かせと同じようにじっと聞いていました。英語での単語で出て来る動物は、英語ではなく日本語で答えていました。英語のレッスンの時に英語講師とタッチする事が多いのか、英語の講師の読み聞かせの時は、子どもたちが前に前にと動いていました。音楽に合わせて体を動かす時も、英語ではありましたが日本語の読み聞かせと同じように体を動かしていました。特にゴリラの場面では、上手に胸を叩いていました。



5-⑤ 振り返りと次回への問い

〈振り返りによる得た先生の気づき〉

【振り返り】日本語でも英語でも音楽の絵本なので、どちらの絵本も体を動かして真似をしていました。言葉がわからなくても、聞いて一緒にやってみる事を継続することで、英語の単語も耳に入って覚えていくのではないかと思います。

【次回への問い】乳児に対しては耳から入ってくる音楽が同じだと英語や日本語の区別なしに楽しめる傾向があるので、音楽なしの場合についての考察を深めたいと思いました。